

## 川崎市立川崎病院

### 令和7年度第3回地域医療支援病院運営委員会 会議録

1 開催日時 令和7年11月25日(火) 13時30分～13時51分

2 開催場所 川崎病院7階講堂

3 出席者

#### (1) 委員

|              |                      |
|--------------|----------------------|
| 古川 智洋 (委員長)  | 川崎区医師会会長             |
| 大塚 宏之 (副委員長) | 川崎市医師会理事             |
| 佐々木 孝幸       | 川崎区歯科医師会会長           |
| 浅見 真吾        | 川崎区薬剤師会会長            |
| 小林 英之        | 幸区医師会会長              |
| 髭内 宏光        | 幸区歯科医師会会長            |
| 小林 由紀子       | 幸区薬剤師会会長             |
| 八木 美智子       | 川崎市看護協会常務理事          |
| 岡田 昇         | 川崎区町内会連合会            |
| 工藤 芳樹        | 川崎市健康福祉局保健医療政策部担当部長  |
| 若尾 勇         | 川崎区役所地域みまもり支援センター副所長 |
| 立花 将一        | 川崎市消防局川崎消防署長代理副署長    |

#### (2) 川崎病院

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 野崎 博之  | 病院長                |
| 原 智    | 副院長兼患者総合サポートセンター所長 |
| 藤原 実香  | 副院長兼看護部長           |
| 上野 浩一  | 救命救急センター所長         |
| 鬼澤 勝弘  | 歯科口腔外科部長           |
| 小林 加寿夫 | 薬剤部長               |
| 松本 浩二  | 放射線技術科長            |
| 瀬川 裕   | 事務局長               |
| 伊藤 猛   | 事務局庶務課長            |
| 酒井 俊明  | 事務局医事課長            |
| 高橋 智常  | 患者総合サポートセンター副所長    |
| 舘山 奈緒子 | 患者総合サポートセンター担当課長   |
| 藤平 高志  | 患者総合サポートセンター担当課長   |

4 資料

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 資料1 | 紹介率・逆紹介率について         |
| 資料2 | 緊急受診・転院依頼応需状況について    |
| 資料3 | 医療機器共同利用予約受付件数について   |
| 資料4 | P E T - C T運用実績について  |
| 資料5 | 地域の医療従事者を対象とした研修について |

資料6 連携登録医の登録状況等について  
その他資料

前回運営委員会会議録  
地域医療連携便り Vol. 48  
第4回市民公開講座

5 議 事

(1) 開 会 (司会進行 高橋患者総合サポートセンター副所長 (2) まで)  
司会挨拶

- ・会議公開の確認
- ・委員全員の同意により公開。傍聴希望者なし。
- ・当院出席者の異動に伴う交代の報告

(2) 病院長あいさつ  
(野崎病院長)

昨日暖かかったかと思ったら、今日はかなり寒いということで、そんな中、お集まりいただきありがとうございます。今ちょうど診療報酬改定で来年どうなるかということで、病院も経営上の問題がありますので、いろいろ期待するところも多いのですが、高市さんが首相になられてから、どちらかというと積極財政派と思われているのか、円安と債券安になっていて、長期金利が上がって円安が進むと、医療機器は結構海外のものがいっぱい入っているので、こちらの経営もかなり厳しくなるのかなということを少し心配しているところでございます。ただ、当院としての役割というのは、やはり地域で困っている患者さんに来ていただいて、地域にお返しすることです。皆様方のご意見を参考にしつつ、運営をしていかなければならないというふうに思っておりますので、本日もよろしくお願ひいたします。

(古川委員長による進行)

(3) 議事録署名人選出

川崎市審議会等の会議の公開に関する条例などに基づき、会議録の作成と、委員による当該会議録の確認が必要なため、委員会開催の都度、委員長が指名。古川委員長が浅見真吾委員を指名し、浅見委員の承諾により議事録署名人となる。

(4) 議 題

議題1 紹介率・逆紹介率について  
(原副院長)

- ・お手元の資料1をご覧ください。紹介率、逆紹介率についてですが、上段に令和7年度、4月から9月まで上半期の紹介患者数、逆紹介患者数、初診患者数、紹介率、逆紹介率が記載されております。紹介患者数ですが、上半期合計で6,330人、1箇月平均で1,055人ということで、昨年度から1箇月平均1,000人を超える状況を維持しているというような状況にあります。逆紹介率に関しましては、病院としましても、状態が安定した患者

さんに関しましては、地域の医療機関の先生方をお願いして診ていただくということを各医師にも積極的に進めておりますが、こちらの方が合計で9,007人、1箇月平均で1,501人ということで、高い水準を維持してきております。その結果といたしまして、紹介率が80.6%、逆紹介率が114.8%ということで、地域医療支援病院の承認要件を満たしているというような状況でございます。以上になります。

(古川委員長)

- ・80%を超えたということで、紹介率だけで要件を満たしているということですね。

(原副院長)

- ・上半期に関しましては、紹介率だけでも要件を満たしているというような状況になっております。

(古川委員長)

- ・それは喜ばしいことですね。ありがとうございます。従来はそういうことはなかったと思います。

## 議題2 緊急受診・転院（転入）応需状況について

(原副院長)

- ・資料2をご覧ください。緊急受診転院及び転入の応需状況になります。こちらは地域の医療機関の先生方から当日、患者総合サポートセンターもしくは直接医師宛てに受診の依頼があった患者さんの応需状況になります。今年度の4月から9月までの上半期の数字を記しておりますが、一番下の段に上半期の平均が出ております。平均として応需率が71.1%入院率に関しましては、その中で入院が必要になった患者さんの数になります。医療機関の先生方が今日診てほしいということで依頼されているということもありまして、その半数の方が入院されているというような状況でございます。応需率に関しましては、毎月100名以上の応需ができてはいるのですが、時期によりましては応需依頼が増えると対応が難しいこともあり、月によっては応需率が下がってしまっているというような現状でございます。また、右側、転院依頼に関しましては、即日の対応が困難な場合もございますが、全例受け入れを継続して維持しております。以上になります。

## 議題3 医療機器共同利用予約受付件数について

(藤平担当課長)

- ・資料の3をご覧ください。上段の表、令和7年度の4月から9月までの医療機器の共同利用の受付状況でございます。11の検査項目等に対して、上段の表の右下に記載があるとおおり、合計で330件の予約受付がございました。4月から6月は150件、7月から9月は180件でございまして、30件の増加がございました。下段には、令和2年度から令和6年度の受付件数が記載されておりますが、5年間の平均件数は794.4件となっております。説明は以上でございます。

(古川委員長)

- ・ X P 唯一の 1 件。具体的にはどういうレントゲンだったのかお尋ねしたいのですが。

(藤平担当課長)

- ・ そこまでのデータ持ってきておりません。

(古川委員長)

- ・ 次回でも教えてください。どういうレントゲンを依頼するのか、興味があるので。

(松本科長)

- ・ 確か胸の単純撮影です。

(古川委員長)

- ・ 特殊なスキルがおありなんですか川崎病院は。

(松本科長)

- ・ 多分骨密度と一緒に、たまに胸の写真と一緒に依頼くる時があります。その 1 件ではないかと思います。

(古川委員長)

- ・ その場合、胸のレントゲンで診断もつけてくれるのですか。

(松本科長)

- ・ CD に焼くだけになります。

(古川委員長)

- ・ 診断をつけてくれるのなら、喜んでやらしたいと思うんですけどね。

#### 議題 4 PET-CT 運用実績について

(松本科長)

- ・ 資料 4 をお願いします。9 月は全体で 103 件と、結構高水準をキープできていて、そのうち紹介いただいた患者さんが、井田病院と合わせて 34 件。3 割強の患者さんが紹介いただいた形で、この件数は維持できている状態です。いつもありがとうございます。説明は以上です。

(古川委員長)

- ・ PET-CT は、川崎病院内の実績も当然入っているのですね。

(松本科長)

- ・ それが 69 件で 6 割 5 分ぐらいです。

(古川委員長)

- ・ ということは、その他というのが、近隣の医療機関のところということですか。

(松本科長)

- ・ 紹介いただいた患者さんです。

(古川委員長)

- ・ そのうち自費はある程度あるのですか。

(松本科長)

- ・ 自費は年間に 1 人、2 人。

(古川委員長)

- ・ 全部保険診療で、他の医療機関からこちらに紹介している。

(松本科長)

- ・紹介いただいております。

#### 議題5 地域の医療従事者を対象とした研修について

(藤平担当課長)

- ・資料5をご覧ください。令和7年度の地域医療従事者を対象とした研修でございますが、こちらに記載のあるとおり4回実施しておりまして、合計で282名の受講者がございました。

看護師向けにつきましては、館山課長より説明いたします。

(館山担当課長)

- ・資料5の裏面をご覧ください。看護師による地域の医療従事者を対象とした研修ですけれども、今年度は15回を現在のところ予定しておりまして、11回目まで終了をしております。受講者数に関しては、こちら空欄のところもありますが、把握しているところで、165名の方に受講をいただいております。報告は以上になります。

(古川委員長)

- ・出張講座について何かコメントございますか。出張いつでも承りますとか何かございますか。

(館山担当課長)

- ・本年度分まだ受け付けておりますので、今後もありましたら対応させていただきたいと思っております。当院の認定看護師、専門看護師の方で対応しておりますけれども、これまでの公開講座よりも出張講座の方が対面で、その場で質問も受け付けやすく、とても好評をいただいているかと思っております。よろしく願いいたします。

#### 議題6 連携登録医の登録状況等について

(藤平担当課長)

- ・資料6をご覧ください。連携登録医療機関の登録状況についてでございます。令和7年10月1日現在で、前回より1件増えてございまして、619の医療機関等にご登録をいただいているところでございます。ページをおめくりください。増減の内訳ですが、医科は新規が3件、閉院し登録を削除したクリニックが3件ございました。歯科では新規が2件。閉院し登録を削除したクリニックが1件ございました。説明は以上でございます。

(小林委員)

- ・誤植だと思いますけれど、登録削除の中村整形外科は幸区です。

(藤平担当課長)

- ・裏面の中村整形外科でございますか。ご指摘ありがとうございます。

#### (5) その他

(藤平担当課長)

- ・お手元に、前回の会議録と地域医療連携便り、第4回市民公開講座のチラシを配布させていただいております。後ほどご確認いただければと思いま

す。また、次回の開催日程でございますが、令和8年2月24日火曜日。13時半からこちらの講堂で開催をいたしますので、よろしくお願いいたします。説明は以上でございます。

(司会を事務局へ返す。)

## (6) 閉 会

(原副院長)

- ・本日は不安定な天気の中、当院の地域医療支援病院運営委員会にご出席いただきまして、ありがとうございました。

私、10月1日付で副院長を拝命いたしまして、これまでは泌尿器科診療だけに特化してやっておりましたので、副院長職になりまして、今までとは違う視点で、実際病院の運営というところに携わって、本当に病院運営というのが大変なんだなということをこの1箇月、約2箇月で本当に実感しているというような状況でございます。当院が目指すべきところは、冒頭に野崎院長がおっしゃられたとおり、限られた医療資源をご紹介いただいた患者様、緊急あるいは入院での手術、そういったところに費やして、状態が安定された患者様におかれましては、引き続き地域の医療機関の先生方をお願いして協力して、地域の医療を担っていくというようなことだというふうに思っております。少しずつではありますが、実際にそういった形でご紹介いただいた患者様の状態が安定した状態で、近隣の先生方にまたお願いしてというようなこともできているかと思うんですが、まだまだ至らない点が多々あるかと思っておりますので、外からこの川崎病院を見て、どういったところをよくしたらいいのか、そういったところ、もしお気づきになれるような点がありましたら、また改めて教えていただければという風に思います。今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

以上